

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円～/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。

2023
12
2023年11月 第267号



孤近所の米屋さんから1袋(50kg)買って美味しいかどうか試してみます!(カンボジア孤児院)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

前回のニュースレターで既に取り上げていますが、イスラエルとハマスの戦闘が周辺国を巻き込むかたちで激化しています。

日本でも、特にガザで多くの子供達が犠牲になっているという報道を耳にします。どちらが正しい正しくないを語ることは避けたいですが、一度戦闘状態になると、いつも犠牲になるのは子供達です。そういう点から、一刻も早く戦争が終結することを願って止みません。

また、この戦闘で、孤児となってしまった子供達がどれだけいるのでしょうか。

戦闘が周辺国に及んでいけば、その数は増すばかりでしょう。そして、その孤児や子供達に世界がどれだけ助けの手を差し伸べることができるのか大いに疑問でもあります。

以前、これから先、助けなければならぬ子供の数が、世界で大きく増えていくのでは、と書きましたが、本当にそのようになってきました。

私たちの力では限りがありますが、それでも一人でもおおくの子供達を助けたい、と思っています。また、既存のカンボジアやザンビア、フィリピンの孤児院も、さらに力を入れていく必要があります。それ故、皆様のお力添えをこころからお願いするばかりです。

どうかこれからも皆様の御支援、御協力、何卒宜しくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働き手の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。子ども達の学校は、新学期までの1ヶ月間休みに入りました。

時間たっぷりですが、新学期の授業に出来るだけついて行けるようにと、学年毎に1時間ずつスタッフ達が交代で学ぶ時間を持っています。これまで幼稚園に通っていた男の子1人が、新学期からは小学1年生になるので、とても楽しみにしているようです。

現在、他団体から孤児となって長期的な支援が必要な子ども達がいるという情報が入ってきています。

しかし、これから受入れる子ども達の就学支援と自立支援を行う為の経済が不足している状況です。

私達の働きの中心である孤児となった子ども達の受入れをさらに進めて行くことが出来ますように、月々の活動費があと200ドル増加になることを願っています。

皆様のご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い致します。



新学期から小学1年生になるD、自転車の練習も頑張ってます!

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援、ご協力を心から感謝致します。

時間の経つのはなんと速いことでしょう。

2023年も終わりに近づいています。

子どもたちは学校で行われるクリスマスパーティーの準備を始めています。

11月25日、PTAのミーティングがあり、各学年の具体的なプログラムについて話し合われました。

数年間コロナの感染予防のために行うことの出来ませんでした、各地域の就学支援生が集まる年末感謝パーティーを今年はいたいと願っています。

今後ともフィリピンの子どもたちために、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



高校のオリエンテーション

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に、心より感謝申し上げます。

現在中等学校の建設が急ピッチで行われています。1月の開校を目指して、12月の末には完了する予定です。今回は3棟建設の内の1棟の完成ですので、まずその1棟から学校としてスタートさせ、スラムの小学校で学んでいる11名の7年生(中1)がそちらに移動して学びを続けていく事になります。中等学校は、畑に囲まれた、小鳥の囀りが聞こえるとてもどかな場所にあります。私たちは2億円を目標額にしたご寄付を集めさせて頂く取り組みをプロジェクトとして始めました。これにより更に学校周辺の土地を購入し、スラムの貧困に喘ぐ母親・女性達の自立した生活を支援する「職業訓練所」の設立と、孤児達の給食に用いる野菜や鶏を育てる農業生産プロジェクト等、そして何より、残りの2棟の校舎を建設していくための原資とする計画です。どうか皆様のご支援を引き続き宜しくお願い致します。また、小学校においても、来年1月に新学年を迎えるにあたり、制服代60万円、文房具費20万円が必要とされています。こちらもどうぞご支援頂けたら幸いに存じます。



建設中の学校と周辺の土地

松本弘子さんのイラスト



新しいTシャツをもらって喜ぶザンビアの男子